

過去の監査結果に対する措置の通知書

平成30年度

財政援助団体等監査(30監査第 193号)分

(長野市長分)

指摘事項		当初措置状況 (元年度)	令和4年度の措置状況	担当課
第6 意見 (報告書8、9ページ) (2) 本市の文化芸術の熟度を上げていく活動について	<p>久石芸術監督が発案した“Art’ment”(アートメント)は、芸術性や大衆性といった先入観を取り去り、ジャンルにとらわれない音楽を様々な切り口により市民や聴衆に届けることで、まちの賑わいや交流につなげることを目指してきた。しかし、街全体にその気運が高まったかといえば、まだ十分とは言えない。財団には、地域との連携・支援を強化することで音楽イベントを盛り上げていく取組が求められる。</p> <p>また、地域にも世界中の良質な音楽を届け、地域に根付いた文化芸術を積極的にフィーチャーする(取り上げる)ことも重要である。御当地出身の演奏家の凱旋公演や、その地域固有の芸術を広く発信する場の提供といった試みが、一層地域の魅力を高め、住民の知的好奇心を豊かにするものと思われる。</p> <p>他方、演劇の分野でも、アクトスペースを市内の劇団に有効活用してもらう企画や、学校での演劇手法を用いたコミュニケーション・ワークショップの取組も行われているが、市民の自主的な舞台芸術の創造活動が芸術館から発信されるよう、支援や人材育成に注力されたい。</p> <p>なお、所管課においては、市域全体にわたる文化芸術の創造・継承を支援するための基盤(環境)整備に努める必要があり、とりわけ松代文化ホール及び東部文化ホールを芸術館の運営と一本化し、同一の理念のもと地域の拠点として機能させるとともに、民間の文化施設との連携も視野に本市の文化芸術の熟度を上げるよう検討されたい。</p>	<p>長野市の文化ホールのあり方について、文化芸術振興審議会等の意見を聞きながら令和3年度中を目途に方針を決定していく。</p>	<p>文化ホールの運営一本化については、指定管理者モニタリング評価等を踏まえて検討した結果、施設規模や利用形態がほぼ同じである松代文化ホールと東部文化ホールのグループ化がもつとも有効と判断し、令和5年度指定管理者選定施設として公募する。</p> <p>これにより、施設間の連携や人材、提供サービスの共有化が可能となり、効率的で効果的な維持管理・運営が見込める。</p>	文化芸術課